

特集「新型コロナウイルスに挑む大学体育」によせて

木内敦詞（全国大学体育連合研究部長，筑波大学体育系）

本特集の趣旨

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 緊急事態宣言が初めて発出された2020年4月から、もうすぐ1年になる。あの段階で、今のこの状況をどれだけの人が予想できただろうか。もっとすんなりとマスクなしの生活や対面授業、大勢での楽しい会食が、数ヶ月後には再開できるような感覚でいた人がほとんどであろう。その後同年5月末、緊急事態宣言が全国で解除されたところに Zoom 開催された本誌編集委員会幹事会で、本特集を組む提案がなされた。その趣旨は以下のものであった。この未曾有の事態において、全国の大学体育教員は何を考え、どのように授業を運営・展開し、その学修成果はどうだったのか。学生と教員の双方の視点から検討しよう。そしてそれを、その場の情報共有に終始せず、学術的な知見として後世に残せるものにしよう、というものであった。7月上旬の大体連常務理事会において本提案が承認され、本プロジェクトが本誌編集委員の有志メンバーによって進められることとなった。その後もミーティングを重ね、調査項目を精選するとともに、優れた実践に関する情報を集め、寄稿原稿の執筆依頼者の選出も進めた。幸いにも、寄稿を依頼した先生方には本特集の趣旨を十分理解いただき、快く原稿を執筆いただいた。このような経緯を経て、この第18号の巻頭で本特集を刊行できたことを嬉しく思う。テーマについては、受動的ではなく能動的なものにしたいとの編集委員長・西田順一先生のご意向により、「新型コロナウイルスに挑む大学体育」となった。

寄稿論文・寄稿報告の内容

本特集の編集にあたり査読の行われた5編の論文を表に示す。寄稿論文1編目は、全国の大学生5,719名を対象に、遠隔授業による大学体育の学修成果を、主観的恩恵と身体活動の観点から検討したものである。オンデマンド型と同

時双方向型、講義のみと講義+実技、それぞれで学修成果にどのような違いが生じたかについて、テキストマイニングも含めた詳細な検証がなされている。2編目は、コロナ禍における遠隔体育授業の実態を国公私立60大学107名の授業者の視点から多角的探索的に検討した研究である。大多数の体育教員は遠隔授業への対応で労働時間が増したが、教育効果は限定的と捉えており、今後、反転学習への応用など工夫が求められることを示している。3編目の論文は、大学生にとっての体育授業に対する考え方(大学体育観)を、説明的文章完成法から検討したものである。7つの要素からなる大学体育観は、ポストコロナの大学体育のあり方への提言として、コーチングによる指導の多様性、身体性の重視、STEAM教育の展開を示している。

寄稿報告1編目の岡山大学の体育プログラムは、大学生の身体活動促進を意図し、健康関連体力を高める運動種目から構成される、大学体育オンライン教材である。遠隔授業への変更を余儀なくされ多くの教員が途方に暮れたあの時期に、いち早く教材を含めたカリキュラム丸ごとを大体連ウェブサイトを通じて提供された優れた実践に脱帽する。寄稿報告2編目は、遠隔体育実技・部活指導の第一人者によるものである。「新型コロナウイルスに挑む大学体育」の実践をバスケットボール指導を事例に詳細に綴っていただいた。2020年秋学期には対面と遠隔の併用によるハイフレックス型授業にも挑戦されており、大学体育の無限の可能性を感じた。

おわりに

本特集の趣旨に賛同し、論文や報告を寄稿いただいた著者の先生方、厳しいスケジュールにもかかわらず快く丁寧に原稿を審査いただいた先生方、調査回答に協力いただいた先生方と学生の皆さん、そして、本プロジェクトに尽力いただいた有志メンバーに、心よりお礼申し上げます。

表 本特集における寄稿論文と寄稿報告の一覧

寄稿論文	新型コロナウイルス感染症第1波の流行直後における大学体育授業の学修成果:遠隔授業による主観的恩恵と身体活動に焦点をあてた検証。 西田順一, 木内敦詞, 中山正剛, 難波秀行, 園部豊, 西脇雅人, 平工志穂, 小林雄志, 西垣景太, 中田征克, 田原亮二 授業者からみたコロナ禍に行われた遠隔による大学体育実技の教育効果の検証。 難波秀行, 佐藤和, 園部豊, 西田順一, 木内敦詞, 小林雄志, 田原亮二, 中田征克, 中山正剛, 西垣景太, 西脇雅人, 平工志穂 コロナ禍におけるオンライン授業を通して大学体育は何をなし得たのか?:説明的文章完成法を用いた大学生の大学体育観の質的分析。 北村勝朗
寄稿報告	コロナ禍における「岡大プログラム」の有効性。 鈴木久雄, 小林雄志, 伊藤武彦, 太田暁美, 高丸功, 倉崎信子, 枝松千尋, 菅正樹, 住本純, 設楽佳世, 安田智洋, 野口京子, 正美智子, 野上玲子, 松井弘志, 武田紘平, 宮崎正己, 水上雅子, 塩嶋理恵, 中山恭一, 秋原悠, 小幡博基 オンラインによる大学バスケットボール授業の実践と可能性。 小谷 究